（様式5‐1）

**【更新用】様式5-1 実践報告書　　　　　　　氏名**

【更新用】様式5-1実践報告書では、**１例の実践報告を含む活動報告の提出が必要です。**

* 難病患者の**医療提供に関わる看護実践**
* 難病患者と家族の**療養支援に関わる看護実践**
* 難病患者と家族を取り巻く**体制整備(教育・人材育成含む)に関わる看護実践**

上記の看護実践の内容について、説明・報告してください。

実践報告は、下記の様式の項目に従って、１例につき２ページ以内にまとめてください。本実践報告書への記載については、倫理的配慮および必要に応じて所属機関の承諾を得てください。

 **記載にあたっては倫理的配慮を行い、個人が特定されないよう匿名性を確保してください**

|  |
| --- |
| **１．実践報告の焦点**（✔をつけてください） |
| [ ] 医療提供　　[ ] 療養支援　　[ ] 体制整備（しくみづくり） |
| **２．看護実践上の課題**（取り組んだ事例の看護上の課題 / 看護課題・テーマ・理由） |
|  |
| **３．実践対象の概要**（患者/患者及び家族/看護職や介護福祉職・地域や病院施設、事業所等、**テーマに関連した必要な情報を整理する**） |
|  |
| **４．状況分析**（アセスメント・課題の明確化） |
|  |
| **５．看護方針**（介入の方向性・期待される成果・目標） |
|  |

|  |
| --- |
| **６．看護実践内容及び経過**（あなたが実際に行った事実・時間経過及び因果関係を考慮する） |
|  |
| **７．看護実践の評価** |
|  |
| **８．一連の看護実践を通して、あなたが専門的な関わりとする点とその理由** |
|  |
| **９．一連の看護実践を通して、あなたが更に学びを深めたい点とその理由** |
|  |
| **10．本実践報告作成上の倫理的配慮** |
|  |

※この書類は、認定制度以外の目的では使用いたしません。（日本難病看護学会）

（様式5‐2改）

**様式5-2**

|  |
| --- |
| **１．所属機関、内外における社会的・教育的活動**（学会・研修会・セミナー等の企画・運営、病院内での研修やスタッフ教育等の活動など） |
|  |
| **２．主な業績**（論文、学会発表等） |
|  |
| **３．難病看護師としての活動の意義・抱負・課題など**※本項目への記載内容は、更新審査には関係ありません。日頃から感じていること、思っていることを自由に記載してください。 |
|  |